

[成果情報名] 秋ギク「神馬」の3月開花作型における電照期間の低コスト加温法

[要約] 秋ギク「神馬」の3月開花作型では、直挿し後13 、電照打ち切り20日前から16
の夜温管理とすることにより、花芽分化遅延を防止でき、切り花品質が向上するとともに、電照打ち切りまでの燃料消費量を71.5%に低減できる。

[キーワード] 秋ギク、神馬、夜温管理

[担当] 総合農林試験場・野菜花き部・花き科

[連絡先] 電話 0957-26-3330、電子メール arakabu@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 普及

[背景・ねらい]

秋ギク「神馬」は、3月開花作型では電照打ち切り後に花芽分化が遅延しやすく、また、開花揃いも悪く、問題が多い。この花芽分化遅延は、電照期間を低夜温で管理した場合に発生が多い。

そこで、花芽分化遅延を起こさない、電照期間の低コスト加温法を検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 直挿し後13 、電照打ち切り20日前から16 で管理した後に電照を打ち切ることにより、開花揃いがよく、切り花品質（切り花長、切り花重）が向上する（表1）。
- 2 . この温度管理により電照期間中の燃料消費量は、16 一定管理に比べて71.5%に減少する（表2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 電照打ち切り後の夜温管理は、13 （17:00～22:00）、18 （22:00～3:00）、20 （3:00～9:00）とする。
- 2 . 日中は、25 を目標に管理し、換気は、10:00～15:00以外は行わず、茎が赤くならない（アントシアンを生じない）ように管理する。

[具体的データ]

表 1 3月開花作型「神馬」の電照期間の加温方法と生育・開花

加温温度	採花日	平均採花日	切り花長	葉 数	切り花重
13 一定	3/21～3/30	3/24	100.5cm	44.9枚	103.0g
10日前16	3/19～3/28	3/23	102.5	45.8	104.8
15日前16	3/19～3/26	3/21	103.3	46.4	109.8
20日前16	3/17～3/22	3/19	104.1	47.6	99.9
30日前16	3/15～3/19	3/17	102.6	46.0	95.9
16 一定	3/14～3/17	3/15	104.1	47.8	94.6

注 1) 直挿し 平成13年11月30日 無摘心栽培

注 2) 電 照 平成13年11月30日～平成14年1月23日

表 2 3月開花「神馬」の電照期間の
加温方法と燃料消費量

加温温度	燃料消費量	比 率
13 一定	4,745 ^{リットル}	52.8%
10日前16	5,589	62.1
15日前16	6,010	66.8
20日前16	6,431	71.5
30日前16	7,196	80.0
16 一定	8,995	100.0

注) 燃料は A 重油

研究課題名：秋ギクの周年栽培における安定生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2002～2005年度

研究担当者：出口 浩、松尾崇宏